

創立 93 年 広島国際学院 報

建学の精神
教育は愛なり

第 111 号

令和 2 年 5 月号



広島国際学院大学大学祭「高城祭」の歴代看板

目次

大学学友会.....	1
工学部.....	2
総合教育センター.....	2
情報文化学部.....	3
専門学校・短期大学部.....	4
中学校・高校から発信.....	5・6
卒業式・入学式.....	7

工学部

情報文化学部

総合教育センター

専門学校・短期大学部

中学校・高校から発信

広島国際学院

🔍 検索

大学学友会

広島国際学院大学 学友会について

学友会とは、広島国際学院大学の学生が所属する学生組織です。これまで、前身校の広島電機大学や現在の広島国際学院大学とともに、1967年から53年間の歴史を刻んできました。先輩方から引き継いできた半世紀の重みを思うと、とても感慨深いものがあります。

学友会は、学友会本部を中心として、体育局、文化局、高城祭実行委員会の四つの部署があり、部署ごとに、Area Clean Campaign(地域清掃)・赤十字学内献血・餅つき大会等の地域交流・地域貢献活動のほか、クラブ・サークル活動の支援・総括、高城祭の企画・運営などを行っています。現在は、本部5名、体育局3名、文化局8名、高城祭実行委員会10名の合計26名で活動しています。

今年度からは、学生募集を停止することとなったため、私たち学友会でも、これからメンバーが少なくなり、実施が難しくなるイベントも出てきますが、学友会メンバー一人ひとりが最後まで頑張って活動し、開催するイベントやクラブ・サークルの支援などに、より一層力を入れていきたいと思えます。

昨年度の高城祭について

2019年10月13日に第52回高城祭「破天荒」を開催しました。「破天荒」とは、「新たな挑戦」、「今までにない高城祭」という意味を込めたものです。

当夜祭として開催予定だった12日は、台風の影響により中止になりましたが、13日の終夜祭には500人を超える方に足を運んでいただきました。

終夜祭(13日)のオープニングでは、歌とダンスをテーマに4つのグループのパフォーマンスが披露され、華やかなスタートとなりました。その後も、1部と2部の2回行われたプチ抽選会、かなりの盛り上がりを見せたクイズ大会など、様々な企画を行いました。終夜祭の最後には、メインゲストの四星球さん(法被を着た姿でライブを行い、「笑い」や「涙」を誘う「泣けるコミックバンド」です。)のライブが行われ、お客さんと一緒に大いに盛り上がりました。2日目(終夜祭)の最後には、高城祭実行委員会のメンバー全員がステージに立ち、一言ずつマイクを手にしました。高城祭の企画、準備、調整、そして当日の運営など、辛いことや心配ばかりでしたが、何とか成し遂げられて、ほっとした気持ちと達成感からなのか、メンバー皆、涙のコメントとなりました。

第52回高城祭にご支援、ご協力いただいた皆様、当日高城祭に足を運んでいただいた皆様に深く感謝いたします。誠にありがとうございました。



ダンス愛好会 2日目(終夜祭)の最初に他のグループの人たちと共演し、とても楽しいステージでした!!!

今年度の最後となる高城祭について



高城祭実行委員会は、ほとんどが女性メンバーです。今、皆で知恵とアイデアを振り絞って、楽しい企画を話し合っています。

高城祭は、これまでの形で行うのは、2020年10月24～25日に開催予定の第53回高城祭が最後になります。2021年以降については、今の高城祭とは形を変えて、何かできないかなと思っています。

今回の高城祭のテーマは、まさに「アンカー」です。現在、高城祭実行委員会では、今回の高城祭が学生や教職員、地域の方々の記憶に残るものとなるよう、楽しい企画をメンバーで話し合っているところです。また、これまで以上に地域の方々との繋がりが深いものにしたいと思っています。皆様、楽しみにしてください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

※なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、学友会の諸行事が延期または中止になる場合もあります。

工学部

生産工学科「卒業論文発表会」

2月7日、第4回生産工学科卒業論文発表会が611大教室にて開催されました。機械工学、情報制御および電気工学など3つのコースの4年生が、計18テーマについて、1年間の成果を発表しました。内容はマイコンを用いた自動システム、大学校舎などの3DCAD

作品、高純度アルミニウムの特性評価、有限要素法解析、圧延技術、水質分析、太陽光を用いた農業電源など、創意工夫を重視した技術開発から、高度な設計・制作・解析などの発表がありました。



広島市環境局中工場

1年生 企業見学ツアー

生産工学科1年生が1月23日、広島市環境局中工場に企業見学ツアーに行きました。広島市のゴミ処理の概要について説明を受けた後、3班に分かれて工場内を見学しました。中工場は、最新の技術を導入したごみの焼却工場で、世界的に有名な建築家である谷口吉生氏が設計した、ごみ処理施設のイメージを一新する建築デザインの建物です。見学コースはとても綺麗で、最新の設備を間近で見ることができとても迫力がありました。

生産工学科は、機械工学コース、電気情報コース、バイオ生産コースの3コースがありますが、どのコースも環境問題とは密接に関係があります。今回の見学ツアーで見聞きしたことを今後の勉強や就職先を検討するうえで役立ててもらいたいと思います。

PICK UP!

中級バイオ技術者認定試験に合格しました！

2019年12月22日、本大学でバイオ技術者認定試験が行われました。この試験は、日本バイオ技術教育学会が行っているもので、バイオテクノロジー分野の知識を修得したことを認定する資格です。2年生から中級が、3年生から上級が受験できます。本大学では受験対策講座も提供しています。さらに、本大学は団体会員になっていますので、受験料の割引や、受験会場を本大学とするなど受験する学生を支援しています。



川口健太さん

今回、生産工学科の2年生が中級を受験し、川口健太さん（安芸南高校出身）が合格しました。おめでとうございます。2020年2月に認定証が届きましたので渡すことができました。次は上級にチャレンジしてもらいたいと思います。

総合教育センター

初年次セミナー「海外・異文化体験」

11月13日、1年生の必修科目「初年次セミナーⅡ」で、本大学の外国人留学生が、出身国と留学経験について紹介する授業「海外・異文化体験」を行いました。現在、本大学では6か国（ベトナム・中国・バングラディッシュ・インドネシア・ネパール・インド）から来た留学生が学んでいます。今回は、ダナンディマスセットさん（生産工学科3年生・インドネシア出身）、レシータンさん（生産工学科4年生・ベトナム出身）、李柯毅さん（現代社会学科4年生・中国出身）の3人が、それぞれの母国の自然・文化・社会などについて紹介しました。一緒に学生生活を送っていても、ふだんはあまりじっくり聞くことのない話に、1年生は興味深く耳を傾けていました。



ダナンディマスセットさん

情報デザイン学科 第13回卒業研究・卒業制作展を開催

2月14日から16日の3日間、情報デザイン学科 第13回卒業研究・卒業制作展をJMSアステールプラザ市民ギャラリーで開催しました。今回のテーマ「ハッシン」には、自分たちが思いを込めて作ってきたものを伝える「発信」と、大学を卒業してこれからの人生を進んでいく「発進」の2つの意味が込められています。



会場には様々な作品が展示されました。中でも大久野島の観光客へのマナー啓蒙のためのコマ撮りアニメーションは、多くの方の目を惹きました。本学と交流の深い漢城大学校芸術大学の卒業作品も展示されました。

2日目には千葉大学大学院の伊藤智義先生に講演いただきました。参加した4年生は先生の漫画原作者としての活動や、天文学向け並列計算機の開発経験から、クリエイターにとって大切なことを学び取ろうとしていました。

最後にご来場の皆様に感謝しますとともに、卒業生の社会での活躍を心より祈念いたします。

広島ドラゴンフライズの大型パネル24枚をデザイン ～広島をデザインで応援！～

情報デザイン学科ではJR新井口駅からアルパークにかけてのペDESTリアンデッキに掲示中の広島Bリーグ球団・広島ドラゴンフライズ・選手らの大型パネル24枚をデザインしています。本プロジェクトは、広島ドラゴンフライズ・広島市西区・本学との産官学連携事業として2016年から続いています。このプロジェクトでは、球団と西区からの依頼で、「広島に、バスケでつながる風景を」というテーマと「花」というテーマを結びつけます。



デザイン担当の7人の学生たちは、球団や区役所、地域の方々との打ち合わせを重ねながら約4ヶ月がかりで制作しました。今年は、雑誌の表紙をモチーフにした、魅力いっぱいのデザインです。パネルは9月まで掲示されますので、ぜひご覧ください。

現代社会学科 卒業論文発表会

2月7日午後1時より、10号館MV教室にて現代社会学科の卒業論文発表会が開催されました。各ゼミの代表者8名が発表しました。発表が終わるたびに、発表者に対するフロアーからの質疑応答が交わされました。4年生はもちろん、来年度卒業論文を作成する3年生も先輩の発表を真剣に聞いていました。



先輩の発表を真剣に聴く後輩たち

最後に池本良教学科長より、様々なテーマで取り組んでくれましたが、探求の深さが足りなかったと総評がありました。選んだテーマの過去の研究の整理や最新のデータを用いて、どこまで深く掘り下げることができるかが研究の価値になるので、3年生は今回の卒論発表会を参考に、教員と良い論文を作成してください。

PICK UP!

タイ海外研修

現代社会学科の国際コミュニケーションコース科目「海外研修」で、2020年1月25日から2月3日まで、タイに行ってきました。プログラムは、①チェンマイ大学人文学部を訪問し、現地の日本語教育事情を知る、②山岳民族支援のための無農薬コーヒープロジェクトで収穫体験、③山岳民族のアカ族生徒寮での交流、④人身売買の実態およびタイ人女性と日本人男性の親をもつ子どもたちの現状について学ぶ、⑤国境（タイ・ラオス・ミャンマー）を訪ねる、といったもので、非常に充実した研修となりました。また、本学茶道部の若村智史さんは、各地でお茶のお手前を披露し、とても好評でした。参加学生は最初は不安げな表情でしたが、具体的な作業や交流を通じて現地の人びととの関係を深めていくなかで、明るい顔つきになり研修を楽しんでいました。



山岳民族生徒寮での交流

専門学校・短期大学部

専門学校開校挨拶 学校法人広島国際学院 理事長 田中 満彦

4月1日、広島国際学院専門学校が開校しました。本学院においては5番目に開校した学校であり、50年を超える歴史を持つ短期大学を引き継ぎます。これからは、地域の自動車産業並びに社会のさらなる発展に貢献し、かつ、次代を担う自動車整備士を養成することを目標として、地域に根差した教育活動を行ってまいります。



自動車整備士登録試験結果

平成31年度第2回自動車整備士登録試験（2020年3月22日実施）の合格発表が4月7日に行われました。結果は右表の通りです。

	受験者数	合格者数	合格率
1級小型（筆記試験）	2	2	100%
2級ガソリン	44	43	97.7%
2級ジーゼル	25	25	100%



学生たちは少ない勉強時間を

有効に使い、試験に臨みました。今回は新型コロナウイルスの影響により、マスクの着用や試験会場を分けるなどの対応をして実施されました。試験後に開催される卒業パーティーも、やむなく中止となりました。4月からの新生活でも短大で学んだことを十分に生かし、今後の人生に役立ててもらいたいと思います。



校内企業研究会

1月14～15日、「合同企業研究会」を開催しました。入学時からの就職支援授業の総まとめとなるこの研究会で、学生は受験企業を決定しなければなりません。受験先の最終決定をするため、2日間で、希望する8社の企業のブースを回り、各社30分の説明を受けました。今年は中野キャンパスでの開催となり、会場の都合上、例年より少ない32社（自動車メーカー1社、ディーラー22社、一般整備5社、一般企業2社、損保1社、公益法人1社）での開催となりました。

学生たちは企業の福利厚生制度、社員教育制度、企業の将来像、転勤の有無、離職率、待遇、採用試験情報等、採用担当者から真剣な様子で説明を聞いていました。研究会終了後のフリータイムも多くの学生が企業のブースを訪れ熱心に説明を聞いていました。2月1日から始まる採用試験の企業選択に大いに役立つ研究会だったと思います。

PICK UP!

ベンチマーキング活動

ひろしま産業振興機構様主催の「ベンチマーキング活動」が1月29日から6日間、上瀬野キャンパスで行われ、専攻科の学生と教員が共同で分解作業を担当しました。今回で6回目になり、6日間で粗分解、細分解から部品展示などを行います。県内外67社の企業が来学し、のべ498名の参加がありまし



ベンチマーキング活動の様子

たが、これは昨年に比べ30%も多く、この活動の重要性が分かります。対象車両は昨年に引き続きドイツ車で、BMW320iです。外車は国産車と異なる構造が多く、分解には時間がかかりますが、学生たちは丁寧に、根気強く作業を進めていました。部品展示の段階で企業の方は部品を手に取り、材質や構造を詳細に調べ、写真を撮ったり記録したりします。学生たちのこの活動を成功させたいとの思いと、責任をもって作業するという態度から、今後、頼もしい社会人になってくれるものと期待できます。

中学校・高校から発信

大学合格体験記『最も大切なのは自己分析』

山下 晴菜さん（段原中学校出身） 大阪大学 外国語学部 ベトナム語学科

私は中学生の頃は勉強をあまりしておらず、高校では3年間しっかりと勉強しようという思いで入学しました。2年生のときに担任の先生に阪大の外国語学部を勧められ、嬉しくなり、勉強のギアが自然と上がったことが阪大を目指すきっかけとなり、合格に繋がったのだと思います。

私は勉強において大切なのは方法ではなく自己分析だと思います。苦手や性格はみんな違うため、全員に効く共通の勉強法はないと思います。直ぐに人に聞かず、自分自身で考えること、こうしてみようと実践することは、日常生活でも自分と向き合う勇気や行動力にも繋がると思います。自分のことは自分が一番わかっているはずだからきっとできるはずです。

最後に、私は国際学院に来て本当に良かったと思っています。環境に恵まれ3年間楽しかったです。先生方、気にかけてくださり、期待して下さりありがとうございました。そして、阪大に行かせてくださって本当にありがとうございました。

国際交流

長期留学生ルナさん（ノルウェー）

日本に来て7か月が過ぎました。普通科2年5組に所属し、今は生徒会に入っており、学校行事のお手伝いをしています。日本語能力検定試験4級に合格し、今は次のステップを目指し勉強中です。

英会話受講生募集について

本高校では、ベルリッツ英会話とオンライン英会話の受講者を募集しています。ベルリッツ英会話は、ネイティブの先生が来られ15名までの生徒たちと一斉授業になります。1対1では、話しくいけれど、他の生徒たちの反応も見ながら練習したければ、こちらの講座がお奨めです。また、オンライン英会話は、パソコンを使いフィリピンのセンターと接続し1対1で日常会話・英検対策・GTEC対策の中から選び練習できます。自分一人ですっきりと話したい人向けです。放課後、英会話学校に通うことなく、校内で英会話の練習ができますので、会話力を伸ばしたい人はチャレンジしてみてください。

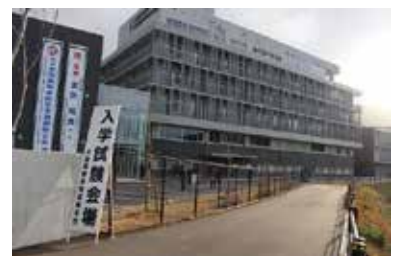
アイルランド海外研修募集について

研修地であるアイルランド・ダブリンは、日本人が少なく、治安もいいです。町もちょうどよい大きさで、人はフレンドリーです。ヨーロッパから英語を学びに来る生徒が多く、まさに様々な国の生徒達と友達になるチャンスがあります。ヨーロッパの生徒たちは自分の考えをきちんと持っており、自己主張はしっかりとてきます。その中で自分の意見をはっきり言える強いマインドが必要です。



高校入学試験（推薦・一般）

本校の推薦入試（2月4日）、一般入試（2月17～18日）が実施されました。合わせて約1,300名の受験生が、教科試験と面接試験に挑みました。冬らしい寒さがあまり感じられない日々が続いておりましたが、一般入試では強風と厳しい寒さが感じられる天候となりました。受験生の皆さんは、寒い中本校に来校していただき本当に大変だったと思います。



各会場ですべての受験生が、真剣な眼差しで解答用紙に向かって鉛筆を動かしている姿が印象的でした。次に教室ごとに面接試験を実施しました。面接はグループ面接です。本校の補助生徒の誘導に従って面接会場に入っていきます。いくつかの質問事項に対して、受験生の皆さんは緊張もあったと思いますが、一つひとつしっかりと発言をしていました。2020年度から本校の教育カリキュラムは一新します。新しいカリキュラムの先駆者として皆さんには頑張ってもらいたいと思います。応援しています！

マラソン大会

2月11日、本高校恒例の「マラソン大会」が坂中学校周辺森山ジョギングコースにて実施されました。今年は例年になく暖かな気候の下、マラソン大会を実施することができました。生徒の中には半袖、半パンで競技に臨む者もあり、大変心地のよい一日だったように思えます。天候の関係もあると思いますが、好タイムでのゴールが続出したそうです。皆さんよく頑張りました！1学年は、来年はさらなる高みを、2学年は今回のマラソン大会を高校時代の良い思い出にしてもらえればと思います。



ウィンターキャンプ

本中学校では多くの総合学習（百錬磨）の経験をさせていただきながら、本校に入学し初めての2泊3日（2月9～11日）の宿泊学習を行い、色々なことを勉強させていただきました。

合宿前日に今年初の大雪で、グラウンド一面真っ白。右に左に大はしゃぎ。転んだり・寝そべったり、最後はみんなで雪合戦。生徒も先生も大きな笑い声が山彦のように響きわたりました。しかし、やはり暖冬で雪はすぐなくなり当初の計画は変わりましたが、まき割りや丸太切りなど初めての経験で、腕が痛い・肩が痛いと思戦苦闘でした。寒空の中作ったカレーは、特別な味でした。この経験により一人ひとりの会話も増え、少しずつ利他への心も身についたのではないかと思います。



書初め大会 現中学校2年 嶋野ありさ（仁保小学校出身）

中学生になって初めての書初め大会。書いた文字は「夢の実現」。練習の時には上手く書けたのに、いざ本番になると中々書けず、焦ったけど、最後の一枚は満足いく作品が書け、クラスの中で優秀賞を取ることができました。新年に書初めをして、賞も取れて、これから一年、夢の実現ができる年になりたいな、と思いました。



百人一首 現中学校2年 亀田采希（府中小学校出身）

1月25日に百人一首大会がありました。最初の団体戦では、私の班は接戦の末、準決勝まで進みました。決勝には進めなかったけど、この戦いで班の人たちと協力することができました。次の個人戦では、授業で覚えた30首で行いました。皆早かったですが私は決勝まで進むことができました。結果は準優勝だったので、来年頑張りたいです。



百錬磨

中学校入学試験（Ⅰ・Ⅱ）



2020年の最初を飾る本校のイベント、「中学校入試」が実施されました。1月7日は国語・算数・理科・社会の学力を問う「入試Ⅰ〔特待生入試〕」、1月11日は総合的な学力、思考力、判断力が問われる「入試Ⅱ〔適性検査型入試〕」です。

受験当日は、朝早くから多くの受験生、保護者の皆様、そして塾関係の皆様が集まっていただきました。新年早々の入試ということもあり、緊張感いっぱいの試験だったと思いますが、受験生の皆さん一人ひとり精一杯、問題答案用紙に向かう姿が印象的でした。教科試験の後には、面接試験を実施しました。人前で自分の思いの丈を一生懸命語ってもらいました。

2回にわたる試験でしたが、どの日程も受験生の皆さんは精一杯取り組んでおりました。

卒業式

大学・短大

3月19日、中野キャンパスで大学および短期大学の卒業証書・学位記授与を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大を受けて合同卒業式は中止となり、卒業生は学科単位で集合して学科長から卒業証書・学位記を授与されました。「4年間楽しく学ばせてもらいました」と語った生産工学科の東中俊賢さん(呉工業高校出身)は卒業後、教壇に立ちます。専攻科の田増志さん(安西高校出身)と畑窪琢巳さん(三原東高校出身)はそれぞれ大型車、重機建設機械の整備士として羽ばたきます。田増さんは「学校で習ったことを活かしたい」、畑窪さんは「安心して任せられる整備士になりたい」と抱負を述べていました。



高校

3月1日、第71回の卒業証書授与式を挙行了しました。例年通り盛大に執り行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なご不便をおかけしました。卒業生、また保護者の皆様にはたいへん申し訳ありません。できるだけ例年と同様な形とするため、保護者控え室には式場を映し出すビジョンを設け、校内放送による音声を加えてライブ配信しました。また本会場での式典時間を短縮し、ホームルームの時間を充実させました。過去例のないたいへんな卒業式でしたが、改めて卒業おめでとうございます。これからがスタートラインです。皆さんの未来が輝かしいものとなりますよう、頑張ってください！



入学式

専門学校

満開の桜が咲き誇る4月4日、広島国際学院専門学校の入学式を上瀬野キャンパスで挙行了しました。知名宏校長の入学許可宣言により、晴れて第1期生が誕生しました。知名校長は式辞で「地域や国際社会に貢献できる技術者を目指し、真摯に取り組んでください」と入学生を激励しました。続いて、田中満彦理事長が祝辞を述べ、式は滞りなく終了しました。



入学生の沖本泉樹さん(広島国際学院高校出身)は「自動車のことを詳しく知るのが楽しみです」と話し、新たな学びの世界に期待を寄せていました。

高校

4月8日、本校において「令和2年度入学式」が厳粛に執り行われました。先般の新型コロナウイルスの影響で中止の恐れもありましたが、皆様のご協力により開催できました。



式典は2部構成とし、9:00～の部ならびに11:00～の部と入学生を分けて実施しました。体育館での式典後は、各ホームルームでクラス開きを行い、担任から熱いメッセージが届けられました。例年とはほど遠い、ささやかな形となりましたが、新入生一人ひとりの輝く目を見ることができ、教職員一同嬉しく思います。

これから国際生として本格的な活動が始まります。学校の雰囲気慣れ、高い志をもって成長してください！

中学校

4月8日、中学校棟に33名の可能性を秘めた生徒たちが入学しました。新型コロナウイルスによる影響で落ち着いた日々の中、希望の光ともいえる子どもたちの入学式が実施でき、教職員一同、たいへん嬉しく思います。困難の中でも中学生としての一步を踏み出せたことを、一生の宝物にしてもらえればと思います。式典後は担任と最初のホームルームを行いました。机上にはたくさんの配付物と、今後の学習に必要なiPadが置かれていました。これから6年間にわたる長い航海が始まります。楽しいこと、つらいこと…様々な経験にも前向きに漕ぎ進めていきましょう！



この広報誌及び第三者認証評価結果はホームページでご覧になれます。

発行/学校法人広島国際学院 法人本部

住所: 〒739-0321 広島市安芸区中野六丁目20-1 電話: (082)820-2345